

すくすく

たけのこキッズ 第21号



川崎こどもクリニック

〒597-0102 貝塚市木積656-7

電話：0724-21-2033

http://www.kawasaki-kc.jp

平成18年3月11日発行

インフルエンザ終息



インフルエンザA型の流行も葛城地区では2月20日頃、木島・永寿地区でもそれから1週間ほどで終息しました。ここ何年かはまずA型が流行し引き続きB型が流行するパターンが続きました。これに対して昨季は2月から3月にかけてB型が流行し、その後引き続いてA型が流行するというこれまでにあまりないパターンでした。今年もA型の終息後もいまだB型が流行する気配がありません。このままシーズンが終わりそうです。

さて、現在流行しているとしてあげられるのは、溶連菌感染症やアデノウイルス感染症です。アデノウイルス感染症のうち白目（結膜）が充血して、喉も腫れて熱が続くのが咽頭結膜熱（俗にプール熱とも言う）です。結構感染力が強く、また発熱期間も場合によっては1週間ほどと長いので、十分なケアが必要です。

診てもらえますか？

医師には「応需義務」というのがあって、「診てちょうだい」と言われれば原則的に拒否はできません。しかしながら専門分野や設備の関係で診療を「遠慮させていただく」という場合はあります。それでも「とりあえず診て！」と言われれば可能な範囲で診療することになります。当院は小児科ですので、成人の慢性疾患である例えば糖尿病や高血圧の患者さんについてはそういう薬を常備していませんし、診療を遠慮させていただいています。ただし、子どもからもらったであろう風邪や胃腸炎については診療は可能です。またそういう場合は診療させていただくことで情報量が増えて子どもさんの診療にも生かせることも出てきます。一方、子どもが調子が悪そうだけれど何かを受診すればいいかわからないという場合もまず小児科を受診してください。必要に応じて他科、あるいは適当な専門医・専門病院へ紹介させていただくことができます。

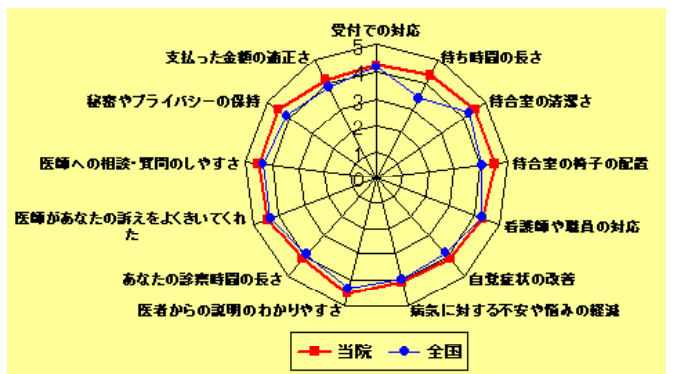


市立貝塚病院小児科の体制

平成18年4月1日から、現在の3人常勤から2人常勤と小児科医師が減員となります。このため、現在実施されている月～金曜日の午後、および土曜日の外来診療は休診となるそうです。

患者満足度調査

12月初旬に医療関係調査会社の協力で患者満足度調査を実施しました。こういう調査は市民病院など大きな病院などでは比較的普通に行われていますが、開業医ではまだまだ少ないのではないかと思います。今回もたまたま全国でいくつかの開業医でこういう調査をするので参加しませんかというお誘いがあったものに乗ったものです。実施してみると、全項目にわたり比較的好印象を持っていただいているようで、特に待ち時間に対する満足が他の医療機関に比べて高評価を得ているようです。これは順番予約システムアイチケットの効果なのか、田舎での開業なので来院する患者さんの数がそれほど多くないためなのかはわかりません。その他評価項目は多岐にわたり、また自由意見としてご指摘いただいた点もあります。今後はそれを参考にして診療を進めるようにしたいと考えています。



救急受診するかしないか

今、夜間休日の小児救急診療施設はどこも込み合っています。この中には、自分では判断できないのでとりあえず受診するという場合もあるようです。ちょっとしたアドバイスでそういった受診を減らし、また受診する代わりに自宅で適切なケアをしてあげてほしいという思いから日本小児科学会がホームページを作りました。もちろん同時に、本当に受診すべき子どもに対してはしっかり診療できる体制づくりも整備しています。救急受診すべきかどうか悩んだ時はまず一度「オンラインQQこどもの救急」ホームページ<http://kodomo-qq.jp/>をご覧ください。当クリニックホームページからもリンクしています。症状に応じた自宅でできるケアについても記載があります。



また、同様の相談ができる場所として、大阪府の小児救急電話相談が平成16年9月1日からスタートしています。NTTのプッシュ回線からなら#8000です。また、携帯電話などからなら06(6765)3650です。看護師さんが親切に対応してくれます。